

フッ化物洗口普及モデル事業実施報告書

市町村名	大 網 白 里 町			フッ化物洗口 開始年度	H18		
保育所数	0 / 5	幼稚園数	0 / 6	小学校数	1 / 7	中学校数	0 / 3

※ 実施施設数／全施設数 (H19年3月31日現在)

【フッ化物洗口に関する前年度までの経緯】

母子保健事業全般においてフッ化物応用によるムシ歯予防効果と安全性について普及啓発に努めてきた。幼稚園、保育所、小学校における親子はみがき教室では、永久歯の保護を目的にフッ化物についての知識の普及に力を入れ、また平成 17 年秋の幼稚園、保育所はみがき教室において、5 歳児の保護者を対象にアンケート調査を実施し、97.4%の保護者がフッ化物洗口を希望していることが分かった。また同時期小学校 1 校において、学校歯科医師による、口腔管理ファイル作製の話が持ち上がり、町としても児童のムシ歯予防の一環として何らかの形で協力したいと検討してきたところであった。

【推進体制づくりの経緯】

実施事項	具体的な内容	評 価
実施校等への事業説明及び承諾	増穂小学校長、養護教諭、学校歯科医師へフッ化物洗口事業の説明を行い、承諾を得る。	学校歯科医師、学校長、養護教諭が非常に協力的で、受け入れ良い。
教育委員会への事業説明及び承諾	県から本事業の実施通知を受け、健康福祉課長、町歯科衛生士が教育委員会へ、本事業の説明を行い、承諾を得る。	教育長、管理課長、主幹 2 名へ、本事業の実施について理解を得る。安全性について慎重に実施するよう意見があった。
学校医関係への事業説明及び協力依頼	学校医 2 名、学校歯科医師 3 名、学校薬剤師、山武郡市歯科医師会大網ブロック代表医師へ事業説明並びに協力依頼を行う。 郡市歯科医師会へ協力依頼。	個々に事業実施の説明並びに協力依頼を行い、事業実施の承諾を得る。
第一回推進会議	10/25(水) 学校歯科医師代表、教育委員会、増穂小学校副教務、養護教諭、町健康福祉課課長補佐、町歯科衛生士 6 名が出席し、本事業の進め方等についての会議を開催。	フッ化物洗口の実施方法や後日開催する説明会について、担当者間の共通理解を深めることができた。
第二回推進会議	H19. 3/2(金) 学校歯科医師、学校薬剤師、教育委員会、増穂小学校教頭、養護教諭、町健康福祉課課長補佐、町歯科衛生士 7 名で、フッ化物洗口の実施状況や来年度の計画について会議を開催。(写真 1 参照)	次年度の事業継続に向け、今年度の実施状況や問題点等、担当者間の共通理解が図れた。

【施設における取り組み内容】 ※今年度実施した施設ごとに記載のこと

施設①		
増穂小学校・対象児童400名（全学年）・職員数26名・フッ化物洗口の実施		
実施事項	具体的な内容	評価
はみがきの開始	フッ素洗口実施に向け、2学期（9月）より給食後のはみがきを開始した。	クラス担任の意識が向上。
保護者並びに学校職員の説明会	11/6(月)学芸集会終了後、日本大学小林教授を講師に「フッ化物洗口によるムシ歯予防効果と安全性について」説明会並びに洗口体験を実施。保護者18名、職員21名、教育委員会主幹1名、学校歯科医師、学校薬剤師、町担当職員2名、臨時歯科衛生士2名、合計46名が参加 洗口体験は全員が実施。 託児所利用7名（スタッフ2名） （写真2参照）	多くの保護者の参加を得るため、託児所を設けるなどの工夫を図ったが、参加が少なく残念であった。しかし、専門家の講演や洗口体験は、事業を実施するうえで大変効果的であった。保護者と学校職員の理解、また薬剤師、歯科医師の更なる理解と協力を得ることができた。
希望調査	11/29(水)フッ化物洗口実施について、希望調査用紙を配布。	在籍者数400名中、388名の希望があった。
洗口の練習	1/9(火)フッ化物洗口実施に向けて、低学年のみ洗口練習を開始。 実際に使用する器具に水道水を入れて実施。 （写真3、4参照）	養護教諭と学校職員間の話し合いで低学年のみ練習期間を設けた。 冬休みが間に入った為、練習期間が短くなってしまったが、問題なく実施できた。
洗口の実施	1/16(火)、18(木)にフッ化物洗口（週1回法）を開始。各日8クラスずつ、クラスごとに朝又は昼休みに実施。0.2%フッ化ナトリウム溶液を低学年は7ml、中、高学年は10ml口に含み、1分間の洗口を行う。 初日、町歯科衛生士が立ち会う。 基本的に担任へ一任し、実施しやすい方法で工夫しながら実施している。（写真5、6、7参照）	高学年の一部児童が洗口直後にうがいをするというアクシデントがあった他は、特に問題なく実施できた。 現在も継続して実施している。
入学説明会	H19. 2/5(月)入学説明会において、来年度入学する新一年生の保護者を対象に町歯科衛生士より、フッ化物洗口事業の説明と洗口体験を実施。52名の保護者が参加。 希望調査書の提出は入学式に設定。 （写真8参照）	多くの保護者参加を得るうえで、入学説明会での事業説明は有効であった。また、洗口体験も入学説明会終了後の実施であったが、多くの保護者に体験していただけた。

	5月の洗口開始に向け、4月より洗口練習をしていく予定である。
--	--------------------------------

【問題となったこと・今後の課題とその対応について】

フッ化物洗口開始となった本年1月より、養護教諭部会での集団フッ化物洗口反対の動きが強まり、実施校養護教諭に対する風当たりが強まっている。今後、養護教諭の移動などの際には実施困難になることも予想される。小学校でのフッ化物洗口は養護教諭の協力なしでは実施不可能なので、県からも養護教諭を対象とした研修会等の開催、また教育委員会や各学校長へ、正しい知識の普及や協力要請等の対応をお願いしたい。

【19年度以降の事業の予定・市町村事業としての予算化の有無】

モデル校でのムシ歯予防効果を見極めたうえで、事業拡大について検討したい。予算化については今後数年間、予防効果を見るうえで、モデル校のみ必要最小限の予算確保はしていきたい。

【活用した参考資料や文献 ※特に有効だったもの】

名 称	概 要	活用場面	費用や入手先等
フッ化物でむし歯予防 (リーフレット)	むし歯の進行、むし歯予防のポイント、フッ素の概要、フッ化物の応用について(12ページ)	保護者並びに学校職員の説明会、入学説明会で配布	1部80円 販売元 (株)アイメディカル

【記録写真等】

<p>写真1 推進会議の様子</p> 	<p>写真2 説明会の様子</p> 
--	--

写真3

洗口練習の様子1 (1年生)

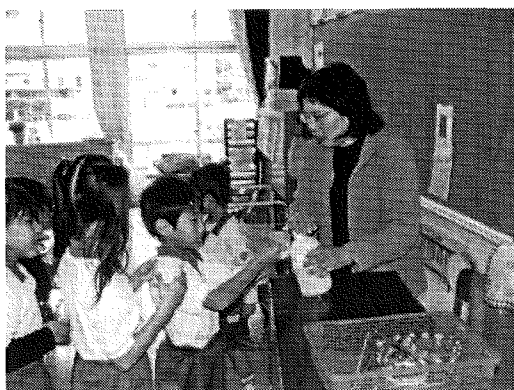


写真4

洗口練習の様子2 (1年生)



写真5

フッ化物洗口初日の様子1 (3年生)



写真6

フッ化物洗口初日の様子2 (1年生)



写真7

フッ素洗口初日の様子3 (5年生)

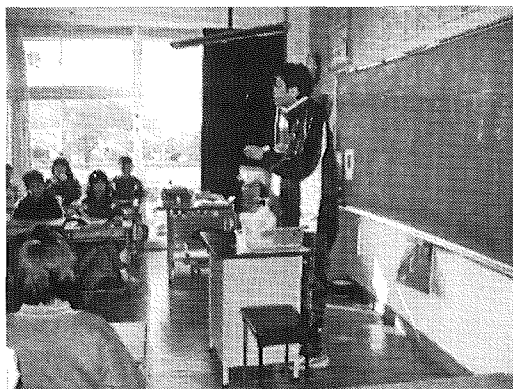


写真8

入学説明会

